

御殿場

十字の園

(題字 鈴木生三)

発行/総合福祉施設
御殿場十字の園
施設長 高橋雅昭
〒412-0023 御殿場市深沢1465の1
TEL 0550-83-1999
FAX 0550-82-5189
<http://www.jyuji.ne.jp>
e-mail:info@g.jyuji.or.jp
印刷/大和印刷株式会社

2021
No.226

(聖句)喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい(ローマ12:15)



露ながら折てかざさむ菊の花老いせぬ秋の久しかるべく (古今和歌集：紀友則)
(露を置いたままの菊の花を折って頭に飾りとして挿しましょう。
いつまでも若々しく長く久しく暮らしていただけますように。)
百歳のお祝いに寄せて。
ご家族からの手紙に笑みがこぼれます。

イルド

理事長 鈴木 淳司

「与えられる喜び」

「そこで、わたしのこれらの言葉
を聞いて行く者は皆、岩の上に自分
の家を建てた賢い人に似ている」

マタイによる福音書

七章二十四節

物事には色々な側面がありますが、皆さんは日常の出来事にどんな価値を見出しているのでしょうか？食事は楽しいけど後片付けは煩わしい。お風呂は気持ち良いが、お風呂掃除は面倒だなど。私たちは日常の中に意味や価値を見出す時もあるが、無価値に感じてやるべき事をやらない理由を考えてしまう時もあります。しかし、自分の行動を見つめ直し、出来事の一つ一つを丁寧に味わってみるとどうでしょう。マイナスに感じていた事にも違った側面がある事に気づきます。つまりやるべき事は変わらないが、新たな発見が自分を成長へ導き、何気ない日常の中で与えられる喜びに気づき感謝の心が育まれると思います。

「5S活動」について

御殿場十字の園施設長 高橋 雅昭

新型コロナウイルスも一時的緊急事態がひと段落し、以前のような人の移動などの規制も緩和され、昔の日常の生活が多少戻ってきた感じがします。しかし施設としては第六波に向け引き続き感染対策を取り続けています。一時中止していましたが再開されました。ご家族との面会されていますが、普段なかなか見かけられない笑顔でご家族とお話をされて元々の生活に戻ってほしいと思います。

さて、御殿場十字の園では数年前からHYS（働きやすい職場）委員会を中心に5S活動をしています。5Sとある言葉は時々聞くことがありますが、言葉は聞き覚えがあるかもしませんが5S活動について改めて説明したいと思います。5Sとは整理・整頓・清掃・清潔・躰で、その頭文字をとって5Sと呼ばれています。

もう少し説明をしますと①整理（必要なものと不要なものに分け、不要なものを捨てる）②整頓（必要なものがすぐ取り出せるように、置き場置き方を決め、表示を確実にすること）、③清掃（清掃してゴミ、汚れのないきれいな

状態にすると同時に細部まで点検すること）、④清潔（整理、整頓、清掃を徹底して実行し、汚れのないきれいな状態を維持すること）、⑤躰（決められたことを、決められたとおりに実行できるよう習慣づけること）になります。特別養護老人ホームなどについては生活の場であるため当たり前のことですが、生活の場は大切にしよう（もちろん掃除は大切ですが））収納の場所や職員の書類を置く場や倉庫などの5Sには取り組んでいます。

以上のことから5Sに取り組むことにより、無駄な時間や労力が減り、その余った時間でゆとりを持って業務を行ったり、利用者の皆さんに接する時間を増やしたりすることができるといえる大きなメリットがあります。

現在はご家族やボランティアの方々や施設内に入ることはできませんが、いざれ施設に来ていただいたときに「きれいにしていますね」などといった言葉をいただける日が来るように思います。

5SはHYS委員会が中心となり継続的に行われていますが今後もさらに施設全体で取り組んでいければと思います。

オンライン形式での十字の園大会

橋本 知美

まだコロナ禍が続く中、今年の十字の園大会はオンライン形式で開催されました。

近年、オンライン化は進んで来ていますが、十字の園としては初の試みということで、様々な壁にぶつかりました。

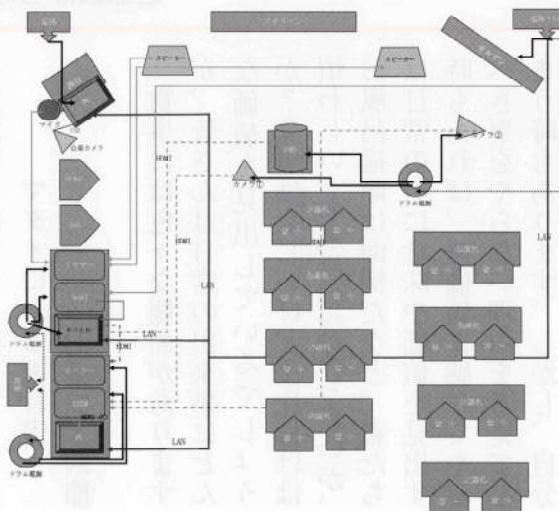
必要な機材と配線の検討、Zoomの扱い方、感染症対策と回線中断のリスクを避けるための基調講演動画前撮りなどをそれぞれの担当者が手探りで行ってきました。

迎えた当日、何度か接続が中断される場面もありましたが、大きな時間のずれもなく、予定通りに研修を終えることができました。

今回の十字の園大会は、主題「創立の精神（こころ）で新たな福祉にチャレンジ」、テーマ「ホスピタリティの中に見る私たちの喜び」と掲げ、ホスピタリティマネジメント研究者・吉原敬典先生より「ホスピタリティマネジメントが福祉を変える」という題で基調講演を頂きました。講演の中で印象に残った言葉は「活私利他」、「相互歓喜（Happy・Happy）」で、十字の園を利用される皆様の気持ちを受け止め、やりたいことを支援することで自分も活かされ喜びになる意義です。

午後の施設発表もコロナ禍の中、ホスピタリティの実践を共有する素晴らしい場となりました。

2021年度十字の園大会 会場配置・配線図



今回の十字の園大会は、オンライン関連事項はもちろん、講師来客対応、施設発表、事務、会場設営含め、チームで創り上げました。今後も皆様の気持ちをチームで受け止め、一分の取り組みを大切に、Happy・Happyがあふれる十字の園を創り上げていきたいと思っています。



かなりお園遊会



園長からの記念品授与



職員が得意のけん玉披露



ご家族からの手紙を読んで微笑んでいます。

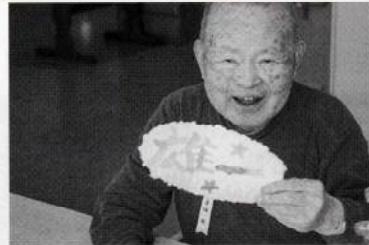


それっがんばれ！

今回の園遊会では職員によるけん玉、式典では皆さんに一言いただき園長からの記念品授与、家族からのお手紙を読ませていただきました。
また、アトラクションとしてピンポン玉を使用したゲームを行いました。



上手に書けるでしょうか、真剣です。



綺麗に出来ました。
食べるのが楽しみです。

ちどりユニットは海老せんべいの上にシロップで絵を書き、色砂糖で色を付ける「らくがきせんべい」と職員有志のけん玉ショーを行いました。



拍手喝采のショーでした。



今年白寿になりました。
おめでとうございます。

ちどり園遊会



最長寿百歳のお二人を前列真ん中にハイポーズ。
上手く撮れたかな？ 皆さんいつまでも元気でいて下さいね。

最長寿の方です。御家族から届いたメッセージを職員に読んでもらい、とても嬉しそうでした。

カラオケ大会を行いました。『富士山』『りんごの唄』『北国の春』など様々な曲を元気に唄われ、楽しい時をすごしました。



ひばりでは九月十日に園遊会を開催しました。
百歳の御長寿のお二人を皆でお祝いして、カラオケ大会を催して楽しんでいただきました。

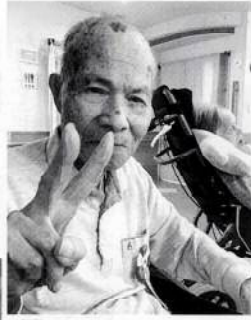
ひばり園遊会

ひまわり園遊会

ひまわりでは、園遊会で職員と共に唄「富士山」や、じゃんけんゲーム、輪投げ等を行いました。



コロナ禍で会えないご家族からの手紙とお孫さんたちの写真を贈りました。



初めて園遊会に参加されました。素晴らしい笑顔ありがとうございます。



米寿の御祝いに贈り物を施設長から頂きました。ご長寿おめでとうございます。



輪投げを行いました。ほかの方の結果が気になりますね。

すみれ園遊会

「食べながら楽しめる」をテーマに置きました。プリンやお菓子を配って催し物を観て、皆さんに参加する楽しさを文字通り「味わって」いただきました。

すみれユニット最長寿まだまだ現役とのこと。



威風堂々な佇まいで挑む姿に高橋施設長も緊張気味(笑)



催しより食べ物に全集中これが長寿の秘訣?!



このところの寒暖の差で体調を崩されたとのことでしたが、元気に笑顔で参加していただけました。

ケアハウス

今年の実り

ケアハウス 武山 幸浩

今年で三年目を迎えたぶどうの苗もやっとう実りを迎えました。このぶどうは、ケアハウス事務所横の空きスペースに植えてあり、施設の散歩コースの途中という事もあり、普段から多くの方々が、足を止めて下さいます。新型コロナウイルス感染症で、色々なことが自粛中の中、少ない実りでしたが入居者の方にもぶどう狩りを体験して頂きました。来年は今年よりも多くの実りを期待し、また皆さんが足を止めていただき、実りを楽しみにしていただけたらと思います。



デイサービス

デイサービスセンターの日常

だんだん寒くなってきました。こういうときこそストレッチしましょう。



リハビリ体操に励んでいます。

新たに御殿場デイサービスセンターに来られた方に丁寧に説明をしてくださっています。



トレーニングは体だけではなく頭脳にも。聡明さはちっとも衰えていません。

デイサービスセンターの日常、皆さんのようなことを楽しませているのか、垣間見てみることにしましょう。

なかなかボランティアさんに来ていただくことが叶いません。そこで『デイサービス婦人会』が大活躍してくださっています。



グループホーム 笑みの里

グループホーム園遊会

九月二十八日に笑みの里敬老会を行いました。今年も新型コロナウイルス感染症防止のため、ご家族を御招待できずの開催となりましたが、普段の食事とは違うご馳走や、職員有志による催し物を皆さんに楽しんでいただくことができました。



職員有志による髷ダンスに皆さん大笑い。



米寿、おめでとうございます。



豪華なご馳走に舌つづみ



HYS活動報告

HYS委員会委員長 杉山 雄久

二〇二一年度も5Sを中心とした活動を続けており、全職員さんの活動、そして、委員会メンバーの働きに忙しい中にもかかわらず取り組んで頂き感謝の気持ちでいっぱい입니다。

四月から五月にかけての整理整頓の活動においては様々な成果も生まれ、職員玄関にはビフォー・アフター報告のポスターを掲示し、多くの職員さんに目に留めて頂けるようにしました。更には以前から課題にあがっていたベロニカホール横の部屋を整理整頓し、驚くほどに片付きました。おかげで防災委員会の課題であった備蓄品もきれいに納められ、物品だけではなく、施設全体としての課題も片付けられていくように感じています。

これから再び十一月一日から十二月十九日まで5S活動が全体で開始されます。前回活動を通して、様々な課題が出て、委員間で話し合い様々な対策案が出ました。そしてそれを実行に移します。全体で取り組むことは大変で迷う

事ばかりですが、PDCA(計画・実行・評価・改善)サイクルに帰る事に心がけ、ゆっくりペースでもいいので回しながら進んでいます。

委員長としての私の考えですが、活動を行うにあたっては一人で行うものとは思っていません。みんな協力して行うことによって力を発揮するものと思います。ぜひ動きやすい職場環境をつくって行きますように。



苦情受付と対応

2021.02.17 ~ 2021.09.17

笑みの里	1件
通所介護	1件
厨房	1件
訪問介護	1件
計	4件

2021.10.13 : 苦情解決第三者委員会開催

- 内容 : • 職員の接遇は「ユマニチュードケア」研修を基として継続・学習していきます。
- 面会について、国・都道府県の警戒レベルの緩和に伴って、施設入館の可否等、県外の方からの問い合わせが増えてきています。静岡県内の警戒レベルに準じて、面会が出来る環境を整えていきます。
- *ユマニチュードとは：
「人間らしさを取り戻す」ことを意味するフランス語。「人間らしさと優しさに基づいた認知症ケア」を表現する言葉で、フランス発祥の認知症のケア技法のことです。
- ※サービス向上のため、家族からの「要望」も取り上げて検討していきます。

あとがき

愛知県の季節限定の郷土蒸し和菓子は、角切りさつまいもが生地の表面にごつごつと鬼の金棒に似ているので『鬼まんじゅう』。平安時代の京都大江山に住まう鬼・酒呑童子でさえ酔い潰れるだろうと、強い酒を『鬼ころし』と称したと言います。誰もがイメージする鬼は善悪を別として『つわもの』。だから架空の生き物でありながら森羅万象にその意識が流れます。下ろされた大根が水っぽくならず辛味が荒々しく引き立つ竹製のおろし器は『鬼おろし』と呼ばれます。鍋の傍らのポン酢と大根おろしが嬉しいこの季節、機関誌最新号をお届けします。(やまもと)

